

焼結HIP炉を導入

高密度化と品質安定化への挑戦！！

高密度化（機能性向上）・品質安定化のため、各種X線検査装置に続き焼結HIP炉を導入

MIM（金属粉末射出成形）は、新しい粉末冶金の製造方法でプラスチックと同様射出成形にて造形し脱脂・焼結工程ののち、複雑形状の金属部品を高密度、ニアネットで製造することができるプロセスで、精密機械、OA機器、光通信、工具関連、一般産業機械等々幅広い分野でご採用いただいております。

MIMは、圧粉焼結法では難しい高密度、高強度の製品が得られ多くの特徴があり幅広い分野でご活用いただいております。

更なる高密度化をはかるため、焼結HIP炉を導入し高機能化・高品質化へのニーズに対応するべく努力しています。

一例として、SKD11材では結晶粒が微細で炭化物が均一に分散しており、機械的性質が溶製材を上回る結果が出ております。



焼結HIP炉



SKD11溶製材



SKD11 MIM材